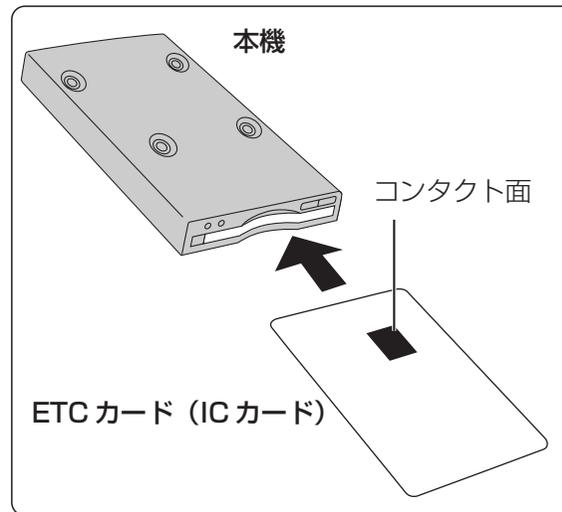


操作の早わかり

本機にETCカードを入れる

- イグニッションキーをACCまたはONで、本機の電源が入り、「ピ」音が1回出力されます。
- ETCカードを図のように挿入すると、自動的に装置の診断を行い、装置が利用可能であれば、スタンバイインジケータが点灯し、「ETCが利用可能です」と音声案内で通知します。

基本的な操作はこれで完了です。
この状態で有料道路を走行してください。



お知らせ

接触型ETCカードを使用していますので、コンタクト面が汚れると正しく書き込みができないことがあります。コンタクト面が汚れないようにしてください。汚れたときは、やわらかい布などできれいに拭いてください。

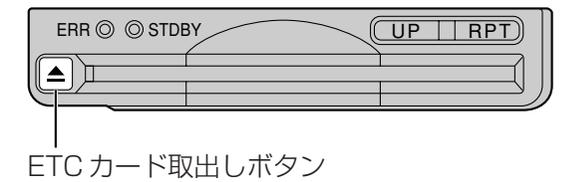
お願い

- エンジンをかけて使用してください。**
バッテリー保護のため、できるだけエンジンをかけた状態で使用してください。長時間エンジンをかけずに使用すると、バッテリーがあがる場合があります。
- 無線通信について**
次のような状況では通信不能の原因となります。
 - ・アンテナユニットを金属物などでさえぎる。
 - ・アンテナユニット前面のフロントガラスが泥などで著しく汚れている。
 - ・電波不透過ガラスおよび赤外線反射ガラス装着車両は電波が受信できないことがあります。取り付けの際はお買い上げの販売店にご相談ください。
- アンテナの取り扱い**
 - ・アンテナユニットに衝撃を加えないでください。
 - ・アンテナユニットは、路側アンテナに向かって適切な角度で取り付けられています。取り付けの角度がずれると通信異常の原因となりますので、再度取り付ける時にはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 精密な機器のため高温多湿の状態で使用しないでください。**
極端な高温の中での使用は、誤動作や故障の原因となります。特に本体ユニットは、ETCカードが挿入されますので、直射日光があたるダッシュボード上には取り付けしないでください。また、本体ユニットやアンテナユニットに水やジュースなどが入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となります。

ETCカードを本機から取り出すには

ETCカード取出しボタンを押す。

- 車から離れるときは、盗難防止などのため、ETCカードを抜いておくことをお勧めします。
- ETCカードが挿入されたままエンジンを切ると、「カードが残っています」と音声案内で通知します。音声案内通知後、装置の電源が切れます。



注意



スタンバイインジケータ点滅中はカードを取り出さない

スタンバイインジケータ（緑色）の点滅中はETCカード取出しボタンを押しても、ETCカードを取り出すことはできません。

禁止

また、無理に取り出すと、本機の故障やETCカードのデータが破壊される原因になります。

ETCカード取出しボタンを押してもETCカードが取り出せないときは

エンジンを切ってから、ETCカード取出しボタンを押してください。

- 上記の方法でもETCカードを取り出せないときは、ETCカード挿入口のフェルトをめくり左端にあるツメをペン先などで左方向に押し込んでください。取り出した後は、使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

